

みずほCustomer Desk Report 2023/05/16 号 (As of 2023/05/15)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	136.03 AUD/USD
TKY 9:00AM	135.82	1.0854	147.39	1.2453	0.6648
SYD-NY High	136.32	1.0890	148.15	1.2534	0.6708
SYD-NY Low	135.60	1.0845	147.34	1.2443	0.6642
NY 5:00 PM	136.10	1.0875	147.94	1.2531	0.6700

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,348.60	47.98	日本2年債	▲0.0500%	0.0100%
NASDAQ	12,365.21	80.47	日本10年債	0.4100%	0.0300%
S&P	4,136.28	12.20	米国2年債	4.0083%	0.0180%
日経平均	29,626.34	238.04	米国5年債	3.4695%	0.0241%
TOPIX	2,114.85	18.46	米国10年債	3.5066%	0.0450%
シカゴ日経先物	29,880.00	290.00	独10年債	2.3070%	0.0415%
ロンドンFT	7,777.70	23.08	英10年債	3.8140%	0.0360%
DAX	15,917.24	3.42	豪10年債	3.3990%	0.0970%
ハンセン指数	19,971.13	343.89	USDJPY 1M Vol	10.66%	1.46%
上海総合	3,310.74	38.37	USDJPY 3M Vol	10.32%	0.02%
NY金	2,022.70	2.90	USDJPY 6M Vol	10.35%	▲0.03%
WTI	71.11	1.07	USDJPY 1M 25RR	▲1.68%	Yen Call Over
CRB指数	261.65	3.73	EURJPY 3M Vol	9.89%	▲0.13%
ドルインデックス	102.43	▲ 0.25	EURJPY 6M Vol	10.25%	▲0.11%

東京	東京時間のドル円は135.82レベルでオープン。5・10日に伴う実需の買いもありドル円は仲値にかけ136円台ちょうど付近まで上昇。仲値後は勢い続かず小反落も、その後は円売りが優勢となり136.27まで上昇した。結局136.07レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、136.07レベルでオープン。特段の材料がない中で方向感なく推移し、結局136.14レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.0866レベルでオープンし、1.0880まで堅調に推移。その後、ユーロ圏3月鉱工業生産指数が予想を下回ったことで一時1.0856まで下落するも、行って来いで反発し、結局1.0878レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は135円台後半でスタート。東京時間では5・10日に伴う買いが先行し136円台前半まで上昇。その後135円台後半まで反落する場面も見られたが、米金利上昇を受け、再び買い戻しが入り136.14レベルでNYオープン。朝方に発表された米5月ニューヨーク連銀製造業景気指数が予想を大幅に下回ると、ドル売りが強まり135.72まで急落。しかし、売りは長続きせず、複数のFRB高官が次回会合でも利上げの可能性を示唆する発言を受け、すぐに136円台前半まで値を戻す。午後は特段材料が見当たらない中、136.10近辺での狭い推移が続き、136.10レベルでクロスした。一方、海外市場のユーロドルは1.08台半ばでスタート。じり高で推移し1.08台後半まで上昇する。その後ユーロ圏3月鉱工業生産(季調済/前月比)が予想より悪化した内容にユーロ売りで反応し、1.0854まで値を下げた。その後、反発し1.0878レベルでNYオープン。朝方は先述の米経済指標の内容を受け、1.0890まで上昇するも、維持できず反落、その後は1.0880付近で揉み合い。午後は方向感乏しい推移が続き、1.0875レベルでクロスした。

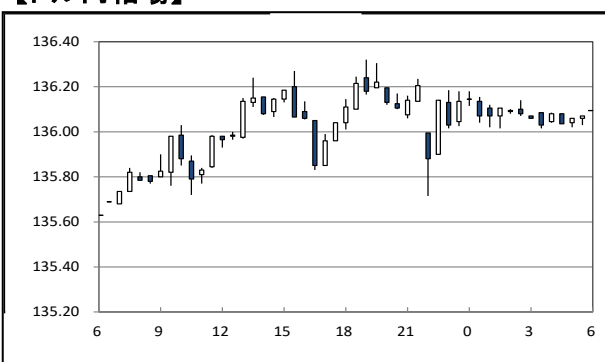
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
5月15日	18:00	欧 鉱工業生産(季調済/前月比)	3月 -4.10%	-2.80%
	20:30	米 ポスティブ・アトランタ連銀総裁 講演	「来年に入ってしばらくするまで利下げを検討することはない」	
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	5月 -31.8	-3.9
	22:15	米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演	「インフレ鈍化にはまだ長い道のりが残されている」	

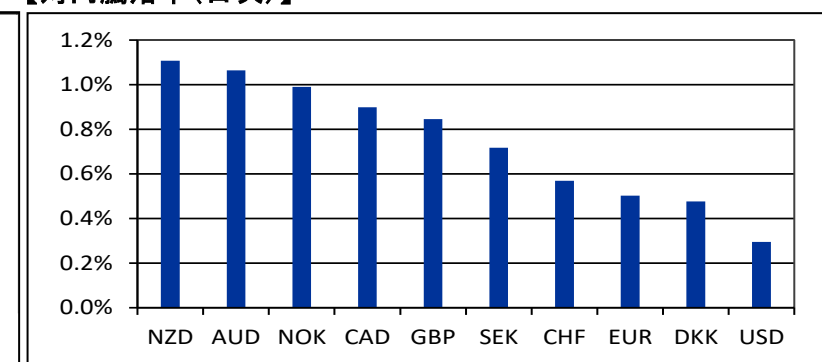
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
5月16日	15:00	英 週平均賃金(除賞与/3ヵ月/前年比)	3月 6.8%	6.6%
	18:00	欧 ZEW景気期待指数	5月 -	6.4
	18:00	欧 GDP(前期比/前年比)・速報	1Q 0.1%/1.3%	0.1%/1.3%
	21:15	米 メスター・クリーブランド連銀総裁 講演	-	-
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	4月 0.8%	-0.6%
	21:30	米 小売売上高(除自動車/前月比)	4月 0.40%	-0.40%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	4月 0.0%	0.40%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.00-137.00	1.0820-1.0950	147.00-148.80

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円は高値もみ合い。東京時間、5・10日需要に仲値にかけてドル円上昇。その後も株価が堅調に推移する展開に円売り優勢となる中で底堅い動きが続いた。海外時間、136円を挟んだ動きが継続する中、発表されたNY連銀指数は大幅悪化。新規受注が大幅に低下する中、仕入れ価格が上昇しているなど中身も悪い。ドル円は一時135.72まで下落するものの、大型起債フローに支えられ米金利下落は一時的。すぐに元の水準に戻す中、ドル円も結局136円を挟んだもみ合いに終始した。米債務上限問題に進展なく、ややドルの上値は重い。

本日もドル円レンジ相場か。135-137円のレンジ内での推移となりそう。本日発表の米小売売上高が弱めの結果となった場合に動きが出るか。現段階では米債務上限問題に進展があるとは考えられず、米金利下落に連れて素直にドル円は下がりそう。ただ、円を買う材料も見当たらない中ではドル円の下落は限定的。ドル円相場は次の材料待ち。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 伊藤・大橋